

大芦小学校に関する懇談会

令和7年12月22日(月) 19時～21時

【参加者数】

・大芦小学校 PTA 役員:14名

【出席者】

・新井主幹
・堀主任

【教育委員会説明】

- 意向確認の結果、12月22日時点で、在校生の移動はなし。未就学児については、大芦小学校に入学予定の9名のうち、3名が吹上小学校を選択。
- このままの児童数で推移した場合、令和9年度において、2年生が6名と3年生が10名の複式学級となる。
- 大芦小学校の在校生保護者からは、統合年度が令和9年度なのか、又は、令和10年度以降になるのかによって、「通学区域の弾力化に伴う就学先意向確認調査票」の回答を変更したいとの申し出をもらっているため、早めの情報提供を求める意見がある。
- 複式学級になることで教職員の校務負担等が増加することが予想される。
- 令和9年度が複式学級、その後統合により通常学級に戻る場合、学習進度等の影響が生じる可能性がある。
- 令和9年度、令和10年度においても入学児童数が一桁になることが予測されるため、教育委員会事務局としては令和9年度の統合に向けて計画どおり取組を進めたい。

【主な意見とその回答】

- (保護者)学級編成の方法など、保護者が不安に思っている点について情報提供してほしい。こうした情報が示されないことで教育委員会への不信感につながり、統合に賛成できない。統合が示されて約3年経過しているが、検討はされていないのか。
⇒(教育委員会)学級編成は学年ごとの人数や状況によって異なる。仮に、吹上小学校の児童数が3学級ある場合、大芦小学校の児童は基本的に2学級又は3学級に分けてのクラス編成となる。
ただし、学級編成を含め統合後の詳細は、統合を逆算して決めていくもの。統合が決定しないと決められないことが多い。保護者や児童の不安を軽減するためにも、統合年度は早期に示すべきと考えている。
- (保護者)小谷小学校から吹上小学校に移った教員は何名か。
⇒(教育総務課)2名。保護者からの要望を受け、教育委員会から県に配置を依頼している。人数だ

けでなく、学校での役割等も考慮して決定されるもの。

- (保護者)在校生と令和8年度入学予定の未就学児がいる。兄姉は吹上小学校に移っても馴染めると思うが、来年度の入学児童が6人というのは衝撃。6人でどのように学級運営するのかイメージできない。多くの人間関係の中で学校生活をすごしてほしいので、早めの統合を希望する。
⇒(教育委員会)6人でも単式学級であることに変わりはないため、運営方法は大きく変わらない。ただし、令和9年度に複式学級になると運営は大きく異なる。
- (保護者)鴻巣市立小・中学校適正配置等の審議会において、対象地域の方の出席がなかった。また、鴻巣市立小・中学校適正配置等審議会及び鴻巣市立小・中学校通学区域審議会を傍聴した際に、当事者として意見を述べたいと申し出たが、規則で発言できないと却下された。
これまで令和9年度統合の適否について協議が行われていない。十分な協議の上で過半数が賛成した場合に統合すべきではないか。
⇒(教育委員会)PTAと相談しながら取り組みを進めている。アンケート調査の要望にも対応してきた。審議会や懇話会だけでなく、休日や授業参観後の意見交換会も複数回実施しており、協議は行ってきたし、今後も継続していく。
- (保護者)保護者は自分たちの家庭の状況に合わせて意見をあげるの、意見がまとまることはない。保護者の意向等で統合年度などが決まるのか。
⇒(教育総務課)統合年度等の方針は教育委員会にて定める。その後、市議会に議案を提出し、統合が決定される。
- (保護者)吹上小学校の学校見学会は実施しないのか。
⇒(教育委員会)統合前の見学会は、過去の事例から、統合先の学校の悪いところに目が行きがちにあるため、統合決定後に実施したいと考えている。
- (保護者)吹上小学校は毎年クラス替えを行うのか。
⇒(教育総務課)毎年実施している。
- (保護者)弾力化期間の登下校について、吹上小学校の通学班に入りたい場合はどうすればよいか。
⇒(教育総務課)原則は保護者の送迎となるが、通学班に入りたい場合は学校に相談いただきたい。
- (保護者)統合がきっかけで不登校になった場合、学校だけで対応するのか。教育委員会も関与するのか。
⇒(教育総務課)教育委員会では、教育支援センターが中心となり、不登校対策をしている。スクールソーシャルワーカーも配置されており、解決に向け関係機関と連携して支援を行う。
- (保護者)大芦小学校と統合した場合、吹上小学校の児童数はどう推移していくのか。

⇒(教育総務課)令和9年度-約570名-20学級／令和10年度-約540名-19学級
令和11年度-約510名-18学級／令和12年度-約470名-18学級
※令和7年5月1日現在

- (保護者)令和9年度に統合するか否かの方針が示されるのはいつか。早めに示してほしい。
⇒統合までに少なくとも1年の準備期間が必要と考えている。令和9年度閉校の場合、3月までに決定する必要がある。議会に議案を提出する前に方向性を示す。
- (保護者)交流事業の回数は。
⇒(教育総務課)吹上小学校と小谷小学校間では各学年で2回実施。回数や方法は、両校の教職員を中心に検討した。
- (保護者)統合後の不安を質問できる掲示板を作ることはできないか。
⇒今後検討する。
- (保護者)令和10年度以降の統合の場合、令和9年度も弾力化は継続するのか。
⇒(教育総務課)継続する。
- (保護者)35人学級は適正な児童数なのか。
⇒国の基準で35人までが1学級と決められている。36人になると2学級となる。
- (保護者)学校規模12～18学級とする方針だが、超える可能性はあるか。
⇒可能性はある。18学級の場合、全学年が3学級ではなく、2学級や4学級が混在する場合もある。
- (保護者)3クラスを4クラスに変更できないか。他自治体では対応していると聞いた。
⇒国の基準に基づき県が教員を配置している。市費で教員を採用する自治体もあるが、鴻巣市では現在のところ考えていない。
- (保護者)子どもたちも学校の閉校について認識している。具体的な時期について聞かれても、答えられず心苦しい。
- (保護者)校歌や運動会の開催時期など、細かい部分を保護者は気にしている。
- (保護者)卒業アルバム等のあり方について、笠原小学校や小谷小学校の保護者の話を聞きたい。
- (保護者)2時間の懇談は負担が大きい。短時間の会議を頻繁に開催してほしい。また、役員だけでなく、全員が参加できる会も希望。